

別記様式第1号（第2条関係）

政務活動費交付申請書

2023年11月20日

（宛先）栃木市長

（栃木市議会議長経由）

会派の名称 創政会

会派代表者氏名 福田裕司

（自署しない場合は、記名押印してください。）

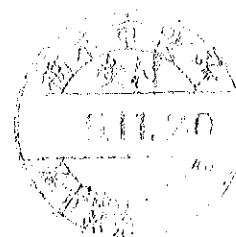
（所属議員 2 人）

政務活動費の交付を受けたいので、栃木市議会政務活動費の交付に関する条例第4条の規定により、次のとおり申請します。

交付申請額（ 2023年 4月～2023年 10月分） 286,035 円

<内 訳>

項 目	金 額	備 考
研 究 研 修 費	268,825 円	第85回全国都市問題会議他
調 査 旅 費	円	
資 料 作 成 費	円	
資 料 購 入 費	1,980 円	地方議会議員ハンドブック
会 議 費	円	
人 件 費	円	
その他の経費	15,230 円	タブレット端末通信料 他
支 出 合 計	286,035 円	



別記様式第2号（第3条関係）

政務活動費実績報告書

金 額 268,825 円

2023 年 11 月 20 日

会派代表者氏名 福田裕司

支出項目	調査旅費
内 訳	①第85回全国都市問題会議(福田・小太刀) ②第18回全国市議会議長会研究フォーラム(福田・小太刀) ①全国都市問題会議 ②研究フォーラム ㊦交通費 81,200 円 99,240 円 ㊦宿泊費 32,000 円 18,000 円 ㊦参加費 20,000 円 18,000 円 ㊦振込手数料 165 円 220 円 計 ① 133,365 円 ② 135,460 円
事 由	研究研修として
債 権 者 住所・氏名	㊦ 東武トップツアーズ(株) 栃木市片柳町 2-13-11 ㊦ ①全国都市問題会議実行委員会事務局 八戸市内丸 1-1-1 (委託: ㊦ JTB 東京都豊島区東池袋 3-23-14) ②全国市議会議長会 東京都千代田区平河町 2-4-2 (委託: ㊦ JTB 東京都豊島区東池袋 3-23-14) ㊦ みずほ銀行 東京都千代田区大手町 1-5-5

(様式第4号)

視察及び研修会旅費計算票兼支払証明書

会 派 名	創政会	科目	調査旅費		
視 察 研 修 月 日	令和5年 10月 11日 ～ 令和5年 10月 13日				
参 加 者	福田裕司・小太刀孝之				
視 察 研 修 名	第85回全国都市問題会議				
場 所	八戸市公会堂・公会堂文化ホール（青森県八戸市内丸1-1-1）				
視 察 研 修 経 路					
※行程・運賃のわかる経路図を添付してもよい。					
10/11(水) 大平下(13:07発)⇒小山(13:23着 13:53発)なすの259号 ⇒宇都宮(14:04着 14:29発)やまびこ63号⇒盛岡(16:54着)宿泊					
10/12(木) 盛岡(7:59発)はやぶさ95号⇒八戸(8:34着)研修 八戸(20:13発)はやぶさ48号⇒盛岡(20:45着)宿泊					
10/13(金) 盛岡(7:59発)はやぶさ95号⇒八戸(8:34着)研修 八戸(13:07発)はやぶさ24号⇒仙台(14:29着 14:45発)やまびこ144号 ⇒宇都宮(着15:58着 16:21発)なすの278号⇒小山(着16:32着 16:45発) ⇒大平下(17:01着)					
※交通費は、区間ごとに記入してください。					
支出区分	区間等	単 価	数量	合 計	備 考
JR 運賃	大平下～小山	330	2	660	領収書なし
JR 運賃	小山～盛岡	7480	2	14960	東武トピアス 79,880円
特急料金	小山～盛岡	5370	2	10740	(89,940×2)
JR 運賃	盛岡～八戸	1690	2	3380	
特急料金	盛岡～八戸	2400	2	4800	
JR 運賃	八戸～盛岡	1690	2	3380	
特急料金	八戸～盛岡	2400	2	4800	
JR 運賃	盛岡～八戸	1690	2	3380	
特急料金	盛岡～八戸	2400	2	4800	
JR 運賃	八戸～小山	8910	2	17820	
特急料金	八戸～小山	5910	2	11820	↓
JR 運賃	小山～大平下	330	2	660	領収書なし
研修参加費		10000	2	20000	(株)JTB
振り込み手数料		165	1	165	みずほ銀行
宿泊代		8000	4	32000	(株)JTB
会派合計				133365	

税金
受取書
5216円
↓

※計算票に代えて、旅行社等からの請求書又は領収書に添付された明細書を提出してもよい。

※領収書のない切符代等は備考欄に領収書なしと表示し、下欄の支払い証明を記入すること。

上記のとおり支払ったことを証明します。

令和5年11月20日

会派名 創政会

代表者名 福田裕司

(自署しない場合は記名押印してください。)

会場：青森県八戸市公会堂・公会堂文化ホール

660	212,260
-----	---------

振込手数料 $660 \text{円} \div \text{参加会派} 4 = 165 \text{円}$

領收書

振込受付書

14時以降、店頭は大混雑いたしますので、振込依頼書はおなるべく午前中にお届けいただきませうようお願い致します。

[illegible]

お振込先 お受取人 おなまえ	郵便番号		口座番号		支店名		支店出納所			
	預金種目	普通 当座 貯蓄 その他 	(印)	(宛名)	金額		円			
カタカナ 漢字など	カナ文字 (四角1つ) 漢文字 (三角1つ) J T B				振込手数料 (消費税等込み) 消費税10%対象 ¥ 660				消費増額	
	株式会社 JTB 様				不明時 					

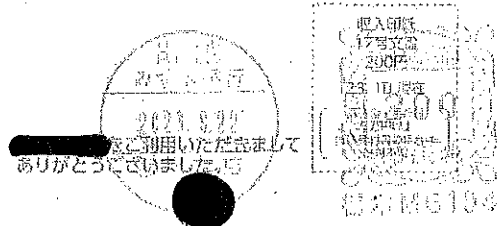
おなまえ ご依頼人	カタカナ	ト 4 キ シ キ カ イ シ 4 キ ヨ 7 [Redacted]											
	漢字など	栃木市議会事務局 [Redacted] 様											
日中のご連絡先	0282212504										(現金で収支私の場合) 非居住者の方は ○をご記入ください		
お受取人さまがあらかじめ指定された 番号がある場合ご記入ください。												[Redacted]	
印鑑 留 印	非居住者様がご依頼人の「おなまえ」と異なる場合は ご記入ください。										(平解署名)		

[illegible]

速便手資料	880円	組換え資料	880円
-------	------	-------	------

立領はすべて対留監禁を請求する。(2023年10月1日現在)

傷やむを得ない事由による遅延の場合、同様の理由によって償金が遅延する
 ことがありますのでご了承ください。
 傷この支払金額取得または無償貸付金は、償金ができない場合などに必
 要となり得るので、大切に保管してください。
 幸々同住者と償金に国内に住所を有しない方を指します。



(様式第5号)

領収書添付票

会 派 名	創政会	科 目	研修研究費
10/12.13 全国都市 (会田)問題会議 福岡議員 小宮議員 2名分 (交通費)			
10/25.26 全国市議会議 長会研究所 (会田) 福岡議員 小宮議員 2名分 (交通費)			

AB No. [REDACTED]

2013 年 10 月 5 日

DATE

FORM OF PAYMENT	
現金 CASH	✓
小切手 CHECK	
銀行振込 BANK REMITTANCE	
ギフト券 GIFT TICKET	
クレジットカード CREDIT CARD	

東武トップアース株式会社
栃木支店

〒328-0053 栃木県栃木市片柳町2-13-11 プリムローズA101
TEL 050-9001-8729 FAX 0282-23-5406

AB No. [REDACTED]

2013 年 10 月 24 日

DATE

FORM OF PAYMENT	
現金 CASH	✓
小切手 CHECK	
銀行振込 BANK REMITTANCE	
ギフト券 GIFT TICKET	
クレジットカード CREDIT CARD	

東武トップアース株式会社
栃木支店

〒328-0053 栃木県栃木市片柳町2-13-11 プリムローズA101
TEL 050-9001-8729 FAX 0282-23-5406

TOBU TOP TOURS

領 収 証 RECEIPT

RECEIVED FROM 創政会 様

領 収 金 額 THE SUM OF ¥ 79,800 -

但し FOR JR 券代金にて

上記金額正に領収致しました
The above sum has been duly received.

※クレジットカードによる領収(お支払い)の場合、印紙税法上の金銭又は有価証券の
受取に該当しないため、収入印紙の貼付は不要となります。

TOBU TOP TOURS

領 収 証 RECEIPT

RECEIVED FROM 創政会 様

領 収 金 額 THE SUM OF ¥ 97,920 -

但し FOR JR 券代金にて

上記金額正に領収致しました
The above sum has been duly received.

※クレジットカードによる領収(お支払い)の場合、印紙税法上の金銭又は有価証券の
受取に該当しないため、収入印紙の貼付は不要となります。

第 85 回 全国都市問題会議

2023-10-18 (水)

<研修報告>

「第 85 回全国都市問題会議」が 10 月 12 日・13 日の日程で、青森県八戸市において、全国から 1,800 名の市長・市議会議員の参加のもと開催され、会派 2 名で参加いたしました。

以下、研修での内容ならびに所感について記述いたします。

第 1 日目 10/12 (木)

① 基調講演

基調講演では、東京藝術大学長/アーティストの日比野克彦氏による「アートの役割って何だろう？」というテーマで、アートが人に及ぼす機能、可能性を考え、①アートは生きる力、②アートは多様性の指針、③アートはこころに作用するの 3 つの捉え方で分析し、現代社会の中での人に対してのアートとの関わりについて、様々な事例を示しながらアートの役割を深堀され、人と人、人とコミュニティ、そして地域と地域をつなぐ場面における捉え方について、今までに経験のなかった講演を聞くことが出来ました。

私が関心を持ったのは、近代社会において、人は時間や成果を追求するあまり、短時間に大量に物質や情報をコントロールし続けており、様々な社会的課題が発生する起因となっていることも少なくなく、アートの特長として、未来を想像する力、一人一人の違いを否定することなく、そこにいることを排除しないという感覚が重要であることが理解できました。

併せて、アートの特性が現代社会を構築していくうえでの重要性を強く感じる事が出来ました。

大きな力が自治体を動かすのではなく、一人一人の小さいけれども、確実にあるすこしずつ異なった多様な想いが、時代を変化させていくことに気づかされ、非常に関心を持てた講演であった。

② 主報告

主報告は、開催市の熊谷雄一 八戸市長から「八戸市の文化・スポーツによるまちづくり」と題した報告がなされた。

報告では、多様で自主的な市民による文化活動を「多文化」と位置づけ、中心市街地活性化という地域課題に対し、意図的・段階的に行ってきた施設について説明がありました。

八戸市のアーカイブ、ものづくりスタジオ、インキュベーション機能や子育て支援機能を有する「八戸ポータルミュージアムはっち」、各種イベントやコミュニティスペースとして機能する「八戸まちなか広場マチニワ」、全国初の公設書店として注目されている「八戸ブックセンター」、美術館でありながら市民交流の場となるジャイアントルームなど、様々な機能に特化した個性的な個室群を擁する「八戸市美術館」など、報告により魅力的な施設整備と丁寧な事業展開を確認することが出来参考になりました。

③ 一般報告 1 文化事業ディレクター/演出家 吉川 由美氏

「まちづくりの活力は地域に根ざした文化政策から育まれる」と題し報告がなされた。報告では地域の資源を大事に想いながら、新しい魅力を市民とともに創りあげる・創り出すことの取組として、「中心市街をみんなの関心空間に」ということで、事例として「八戸のうわさ」というプロジェクトの紹介がありました。

「八戸のうわさ」は、全部で 600 以上のフキダシが、それぞれの店や事業所の窓に張り出され、このまちに生きる人たちの素顔が浮かんでくる「うわさ」があるまち。昔ながらのお隣同士

も、お互いの知らなかった一面を改めて発見できる、見えないコミュニケーションの糸が、人と人との絆を結びつけるプロジェクトで、とても興味深い印象を感じました。

一般報告 2 長野県東御市 市長 花岡利夫氏

「標高差 1, 5 0 0 m の地勢を活かしたスポーツ・ツーリズムの創出」の報告では、オリンピック・パラリンピックを契機に整備した高地トレーニング施設の事故紹介がありました。

事故に際し、近隣の湯の丸高原という標高 1,750m に専門家が着目し、施設のニーズにアドバイスをいただき、加えて「ケアポートみまき」を整備して、高地トレーニング施設で得られたエビデンスを地域住民の健康増進に還元する取組み事例の紹介がされました。

また、自転車のヒルクライムやクロスウォークなどの高低差を楽しむイベントの波及効果も生まれ、高低差が激しい地勢の弱みを、視点を変えて強みに変えた事例の紹介を聞き大変参考になりました。

一般報告 3 株式会社鹿島アントラーズ F C 取締役 副社長 鈴木秀樹氏

「まちづくりにおけるプロスポーツクラブの有効活用」の報告では、国がスポーツ立国戦略で示す「する、見る、支える（育てる）」に加え、「稼ぐ」ができるのがプロスポーツであり、経済効果、人口動態、心象風景、QOL に大きな影響を与えることができること、またクラブが持つアセット（資産）を地域に還元し、持続可能な地域づくりに貢献するという役割について報告がなされた。

現在は市民の健康づくりへの還元としてフィットネス事業、児童・生徒への還元としてプログラミング教室、食育キャラバン、キャリアデザイン教室、教職員向け講話、スタジアムやクラブハウスを活用した学校外活動への協力など、幅広い活動展開の報告がありました。栃木市においても、サッカークラブの支援をしていることから、今後の関わりについてこの度の講演を参考にさせていただきたいと感じました。

第 2 日目 10 月 13 日（金）

④ パネルディスカッション

パネルディスカッションでは、座長 1 名とパネラー 4 名により実施

されました。内容および参加メンバーは以下に記載します。

一巡した文化芸術を活用したまちづくり

～自治体文化行政から魅力的なまちへ～

東京大学大学院人文社会系研究科教授 小林 真理

本パネルディスカッションを努めた座長の小林真理氏からは、自治体文化行政の発展と展開、文化施設建設と運営の反省と転換、まちづくりのコアとしての文化・文化施設について述べられており、栃木市としても 2 度の合併をして誕生した新市であり、今後の魅力的なまちづくりのため、考えていかなければいけない内容を確認することが出来、とても参考となりました。また、時代背景などの課題も見え、新たな視点での対応を見出すことが出来ました。

八戸の独自性が生み出してきたもの

合同会社 imajimu 代表取締役 今川 和佳子

八戸市の多様な目的と交流のための自由な空間として生まれた「はっち」の事業展開に関わり、住民への理解活動での苦労談を皮切りに、市民との融合から市民のマンパワーが人をつなぎ、中心市街地の活性化や多くの波及効果を生んだ事例が示されました。

各種斬新な取り組みの展開により、多くの八戸市民の魅力やクリエイティビティを引き出し、紹介することにより八戸の文化と、人と人とのつながりを確実にしていく様は、とても力強さを感じました。また、このユニークな発想が人と人を出会わせ、人間関係を再構築する 1 つの手段になることを感じ取れました。

地域活性化におけるスポーツの役割とその変化

拓殖大学商学部教授 松橋 崇史氏

地域活性化とトップスポーツクラブと題し、1993 年に開幕した j リーグの「地域密着」に対する、これまでの経緯や結果について事例を交え示されました。

加熱する j リーグの課題として、経営不振がネックとなったが、「地域密着」を推進することで、立て直した事例の紹介があり、その後誕生するバスケットボールのプロクラブや野球の独立リーグなどにおいても、地域密着の重要性を説かれていた。

自治体の活性化において、わが地域にもプロクラブ創設を！を掲げること、地域活性化の 1 つの手段であることを理解できました。

また、スポーツ全般に言われている「全力」を可視化する重要性

も示されており、勝負において勝ち・負けの結果だけでの判断にと
らわれない、「全力」での行動に人は感動し好感を持つ。それを可
視化し住民に知らせることが、地域活性化につながり併せてスポー
ツの役割であると示され、非常に納得させられました。

今後変化するスポーツの特徴を捉えること、もしくはスポーツに
新たな価値を付与することを通じて、スポーツを地域活性化に生か
していく視点がたいへん重要であると感じました。

スポーツとアニメを活用したにぎわいの創出

～誇り高い沼津を目指して～

静岡県沼津市長 頼重 秀一氏

沼津市は、スポーツ・アニメを通じ、地域資源の掘り起こしや沼
津の魅力発信に取り組んだ事例を示され、その結果市外から多くの
集客数の確保とともに、地元市民との交流の輪の拡大、新たな市民
や企業間の交流が生まれ、多くのビジネスチャンスも創出された事
例を紹介されました。

今後は、これまでの活動をさらに加速させ、まちの活気と魅力を
創出させ、市民一人一人がまち誇りを持ち、いつまでも輝き続ける

まちづくりを目指して行くとの、市長の力強い宣言がありました。
他自治体には無い独自の強みを追求し、交流人口増加を含むにぎわいの創出目指すことの重要性や必要性を強く感じました。

文化芸術・スポーツで紡ぐまち・綾部

～市民一人1文化・1スポーツの推進～

京都府綾部市長 山崎 善也氏

パネルディスカッションでは、京都府ということで特に文化芸術の伝承に力を入れている姿が印象的であった。加えて、豊かな自然を利活用したスポーツイベントなども推進し、市外などからの交流人口増加や観光、特産品、食などの魅力発信等を推進し、経済効果に努めている事例が紹介された。

その中で、「市民一人1文化・1スポーツ」の推進のため、文化芸術やスポーツと地域づくりを一体的に推進する体制を構築しているところに関心を抱きました。

<研修全体での所感>

この度の全国都市問題会議のテーマは「文化芸術・スポーツが生

み出す都市の魅力と発展」について、全国からの事例を含め多種の方向を研修でき、とても参考になりました。

あらためて、自治体の課題の抽出、視点の捉え方、そして新たな知識としてスポーツとの融合による地域の活性化など、これまであまり感じてこなかった分野に注目出来ました。

この研修を方にして、今後栃木市に取り入れられることを積極的に提案し、栃木市の発展に尽力して参りたいと感じました。

報告者；創政会 福田裕司

(様式第3号)

視察研修・研修会等報告書

年 月 日	2023 年 10 月 12 日 ～2023 年 10 月 13 日
調査目的又は 研修会等の名称	第 85 回全国都市問題会議
場 所	八戸市公会堂・公会堂文化ホール（青森県八戸市内丸 1-1-1）
出 席 者	福田裕司・小太刀孝之
報告事項	
第 1 日 10 月 12 日（木）	
9:30【開会式】	
9:50【基調講演】 アートの役割りって何だろう？ 東京藝術大学長 日比野克彦氏	
11:00【主報告】 八戸市の文化・スポーツによるまちづくり 八戸市長 熊谷雄一氏	
13:10【一般報告】 まちづくりの活力は地域に根ざした文化政策から育まれる 文化事業ディレクター、演出家 吉川由美氏	
14:30【一般報告】 標高差 1500mの地勢を活かしたスポーツ・ツーリズムの創出 長野県東御市長 花岡利夫氏	
14:30【一般報告】 まちづくりにおけるプロスポーツクラブの有効活用 株式会社鹿島アントラーズ FC 取締役副社長 鈴木秀樹氏	
第 2 日 10 月 13 日（金）	
9:30【パネルディスカッション】 文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展 （コーディネーター） 小林真理氏（パネリスト） 今川和佳子氏・松橋崇史氏 頼重秀一氏・山崎善也氏	
11:50【閉会式】	
上記のとおり報告いたします。	
令和 5 年 10 月 19 日	
栃木市議会議長	様
会派名 創政会	
代 表 福田裕司	
報告者 小太刀孝之	

【所感】

今回の全国都市問題会議のテーマである「文化・芸術・スポーツ」について、本市の振興に参考やヒントになるものはないか？そのような思いで会議に参加致しました。

以下、所感を報告致します。

《主報告》 八戸市の文化・スポーツによるまちづくり

八戸市における旧市街地の商業施設が衰退する現象は、多くの地方都市が抱える課題であり、規制緩和による郊外移転やライフスタイルの多様化、物流やネット通販の伸長などの影響を受けているものでした。本市においても同様な現象が見られます。

また、建造から時間が経過した各種施設の利用低下も同様です。そのような中、八戸市では、新たな交流と創造の拠点として八戸ポータルミュージアム（通称はっち）を開館し地域資源の魅力創出を発信し、文化芸術、産業、観光、市民活動、子育て支援といった各種施策を一体にした施設として 2011 年にオープンさせました。様々なアートプロジェクトに取り組む中で、アーティストの発想とプロジェクトに参加する地域の人々のコラボレーションを通してそれまでにはない形で地域の資源を発見し新たな魅力を見出すと共に、発信に繋げることになりました。その場に行かなければ得られないもの、出会えない人に出会える場、経験出来ない事を得られる場として、市民が当事者として自ら参加する機会を得て、創作活動をする形を作れたことが成功の要因だと感じました。

本市では、旧警察署跡地の利活用をどのように進めていくか現在議論がされていますが、町中の活性化に繋がり来街者が利用したくなるような施設であり、且つ地域住民が自ら参加し創作活動などを通じて新たな栃木市の魅力を見出し、発信できる施設になることを期待しながら、今後の進め方について注視して行きたいと考えます。

また、スポーツによるまちづくりでは市の立地条件を活かしスケートを風土が生んだ文化として長年育てて来ました。「氷都八戸」を象徴として長年愛されていた施設を、防災拠点機能を併せ持った屋内スケートリンクとしてリニューアルしたほか、八戸駅西口にバスケットコートに転換可能な民間施設をオープンさせるなど、スケートを市民の日常事の文化として更に浸透させる施策を展開し、スポーツツーリズム推進などの都市経営の新たな可能性を見い出せたように思えます。さらに、様々なプロスポーツと連携し

ホームゲーム開催はもとより、子どもたちや指導者の育成プログラムの実施など、「する」「みる」「ささえる」を基本方針とし、スポーツの各シーンにおいて市民による多様な関わり、楽しみや活躍、学びの場を提供しています。

本市においても、プロスポーツと更に連携しスポーツに親しむ機会を創出し生涯スポーツの推進とスポーツ施設の充実を進めていくべきと考えます。

《一般報告》 まちづくりの活力は地域に根ざした文化政策から育まれる

この報告の中で傾聴したのは、八戸三社大祭の山車製作に関する報告でした。

山車を製作する山車小屋は「祭り好きが集まる和気あいあいの場」ではなく、世代も立場も考え方も異なる人々が、創造の難しさと喜びを共有し、寛容に違い（才あるものと不器用なもの）を受け止め認め合い、孤立から解放され地域社会の一員として自分自身を確認し、人としての在り方を学べる場となっており創造を通して「地域をつくる人」を育てる場であったという事です。さらに、山車組や祭りを支えているのは、表舞台に立つことのない、様々な見えざる力と市民のボランティアであるという事でした。

祭りは地域経済に大きく貢献する、観光産業の代表的なツールです。本市においても「栃木市秋まつり」は最大規模のコンテンツであり、市民参画の重要な機会でもあります。これから先、世代が交代しても祭りを継承し、続けて行かなくてはなりません。技能・技術の伝承は簡単ではありませんが八戸三社大祭の山車小屋の存在のように、創造を通して「地域をつくる人」を育てる場が、本市にも存在することを願います。

また、祭りに限らずこのようなコミュニケーションの場が地域に存在すれば、「いじめ」や「不登校」の軽減の一助に繋がると考えます。

地域に密着した文化政策は、疲弊しがちな地域のコミュニケーションを活性化できるのではないのでしょうか。今後も継続して行くことで、地域社会を担う次世代の人づくりに貢献できるものと信じます。

《パネルディスカッション》 文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展
スポーツと地域活性化の関連性についての報告に傾聴しました。
政策面では 1970 年代以降、高度経済成長期に都市部に流入した人々が新たなまちを
創る中で、行政主導のスポーツ教室から新たなスポーツサークルを誕生させる試みが
生まれました。東京都杉並区の向陽スポーツ文化クラブや神戸市垂水団地の垂水区
団地スポーツ協会などの、住民自治によるスポーツクラブ誕生が例に挙げられます。
大都市側に人口を送り出す地方都市では、スポーツを活かしたまちづくりが誕生します。
代表的な試みは、「国民体育大会」であり、47 都道府県の持ち回り式で会場が決まる
国体は、それぞれの種目開催を開催広域自治体内のいずれかの市区町村が受け持ちます。
サッカー、バスケットボール、野球などのメジャー競技は、施設を有する比較的大きな
都市が受け持ちますが、競技人口の少ない競技では、開催用の施設がなかったり、
競技者自体が不在だったりするため、ゼロからの振興が求められました。そういったなか
全国に誕生したのが「ホッケーのまち」であります。岩手県岩手町、富山県小谷部市、
福井県越前町、島根県奥出雲町、岐阜県各務原市などが挙げられます。国体開催の
レガシーによって施設と競技者、指導ノウハウが確立されました。小学校から高校までの
指導体制を整え、各年代のチームが全国大会上位の常連となり少子高齢化が進む現在でも
多くのオリンピック選手を輩出しています。行政主導による特定種目の振興は、何らかの
契機がなければ困難であります。国体開催は種目振興をせざるをえない環境を作った
のです。本市においても昨年開催された「いちご一会栃木国体」において、競技人口が
少ない競技の開催場所となりました。私自身もボート競技とハンドボールを観戦させて
頂きましたが、ボート競技の会場となった谷中湖で大会関係者（他県の方）が話している
内容が印象に残っています。「このように広く視界も良好で、波が穏やかな場所は見た
ことがない。毎年ここで開催してくれないかな」というものでした。本市として、この
場所を更にアピールしボート競技の聖地となるような取り組みとこの経験を活かし競技者
の増加および指導ノウハウの確立に向けた取り組みを期待します。
以上
令和 5 年 10 月 18 日 報告者：創政会 小太刀孝之

(様式第4号)

視察及び研修会旅費計算票兼支払証明書

会 派 名	創政会	科目	調査旅費		
視 察 研 修 月 日	令和5年 10月 25日 ～ 令和5年 10月 26日				
参 加 者	福田裕司・小太刀孝之				
視 察 研 修 名	第18回全国市議会議長会研究フォーラム				
場 所	西日本総合展示場新館（福岡県北九州市小倉北区浅野3-8-1）				
視 察 研 修 経 路					
※行程・運賃のわかる経路図を添付してもよい。					
10/25（水）					
大平下（5:58）⇒小山（6:16着 6:22発）なすの252号					
⇒東京（7:04着 7:30発）のぞみ11号⇒小倉（12:13着）研修・宿泊					
10/26（木）					
小倉（13:31発）のぞみ32号⇒東京（18:15着 18:36発）やまびこ217号					
⇒小山（19:17着 19:32発）⇒大平下（19:48着）					
※交通費は、区間ごとに記入してください。					
支出区分	区間等	単 価	数量	合 計	備 考
JR 運賃	大平下～小山	330	2	660	領収書なし
JR 運賃	小山～北九州市内	12670	2	25340	東武トピアーズ 領収書
特急料金	小山～北九州市内	11810	2	23620	
JR 運賃	北九州市内～小山	12670	2	25340	
特急料金	北九州市内～小山	11810	2	23620	
JR 運賃	小山～大平下	330	2	660	領収書なし
研修参加費		9000	2	18000	(株)JTБ
振込手数料				220	みずほ銀行
宿泊費		9000	2	18000	(株)JTБ
会派合計				135460	

※計算票に代えて、旅行社等からの請求書又は領収書に添付された明細書を提出してもよい。

※領収書のない切符代等は備考欄に領収書なしと表示し、下欄の支払い証明を記入すること。

上記のとおり支払ったことを証明します。

令和5年11月20日

会派名 創政会

代表者名 福田裕司

（自署しない場合は記名押印してください。）

97,920円
(48,960円
x2名分)

利用明細書
3622
↓

第18回 全国市議会議長会研究フォーラムin北九州

日時：令和5年10月25日(水)～26日(木)

会場：西日本総合展示場 新館

会 派	参加者	参加料 A	宿泊料 B	振込 手数料	会派計
創政会	福田 裕司	9,000	9,000	220	36,220
	小太刀 孝之	9,000	9,000		
自民未来	松本 喜一	9,000	9,000	220	18,220

440 54,440

振込金額 A+B = 54,000

振込手数料 440円÷参加会派2=220円

領収書

MIZUHO みずほATMコーナー | ご利用明細票

ご利用ありがとうございます。内容をご確認のうえ、必ずお持ち帰りください。 **みずほ銀行**

利用日時 2023-10-18 国・道・河川・港湾番号 [REDACTED]

利用場所 [REDACTED] 利用時間 [REDACTED]

利用金額 [REDACTED] 振込金額 [REDACTED]

振込手数料 [REDACTED] 振込手数料 [REDACTED]

振込金額 440 振込手数料 54,000

電信振込 [REDACTED]

利用手数料 [REDACTED] 振込手数料 [REDACTED]

1419 [REDACTED]

防木

みずほマイレージクラブのお取引条件とうれしい特典が変わりました。

か) JTB 様

381 トチキ"シキ"カイ 様

0282-21-2503

発信番号 [REDACTED]

[REDACTED] [REDACTED]

詳細はこちらのページをご覧ください。

第 18 回

全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州

<研修報告>

令和 5 年 10 月 25 日（水）～26 日（木）において、北九州市の西日本総合展示場新館にて、全国の市議会議員と議会事務局員を合わせ総勢 2400 名の参加者の元、「第 18 回全国市議会議長会 研究フォーラム in 北九州」が開催されました。この度、本フォーラムに会派 2 名で参加いたしました。

以下研修内容ならびに所感について記述いたします。

○1 日目

今回のフォーラムのメインテーマは、「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」と題し、1 日目は元鳥取県知事で現大正大学教授兼地域構想研究所長 片山 善博氏による「躍動的でワクワクする市議会に」というテーマで、基調講演が行われました。基調講演では、・地方議会をめぐる現状とこれまでの地方議会改革の検証。・日本の地方議会に欠けていることは何か。・現行の議会の権限を活用してもっと積極的に取り組むべきこと。・議会の常識と市民の常識をすり合わせる一市民が首を傾げることは。・今振り返って議会に感謝していること。についてこれまでの深い経験と実績を基に講演されました。

なかでも私にとって「議会の権限を活用してもっと積極的に取り組むこと」が大

変印象的であり、今後議会の権限について更に理解を深め、今後の活動に繋がられるようにしたいと強く感じました。

続いて、「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」をテーマに、コーディネーターに谷 隆徳氏（日本経済新聞編集委員）、パネリストに勢一 智子氏（西南学院大学法学部教授）、辻 陽氏（近畿大学法学部教授）、濱田 真里（stand by women 代表女性議員のハラスメント相談センター共同代表）、田仲 常郎氏（北九州市議会議長）によるパネルディスカッションが行われ、多方面から活発な議論がなされ、大変貴重な意見を数多く聴取することが出来参考になりました。

○パネルディスカッションでの論点

統一地方選の振り返りでは、全国的に投票率の低下・女性議員の増加・ボートマッチ（自分の考えに近い候補者をネット上で探す）等について示され、パネルディスカッションでは、地方議会での議員なり手不足における小規模・大規模自治体の課題、議員報酬の格差や、女性議員の比率などのディスカッションがありました。また、ハラスメント問題として地方議員に対するハラスメントや、女性議員に対するハラスメントの現状についての事例を聴くことが出来ました。

それに伴い、条例の制定に至った事例の紹介がありました。

パネルディスカッションでの感想ですが、今後加速していく人口減少社会が地域にもたらす課題やその対応。多様な人材の議会への参画等についてあらた

めて認識を共有することができ、今後に繋げていきたいと感じました。

○2 日目

「議員のなり手不足問題への取り組み報告」として、コーディネーターに江藤俊昭氏（大正大学社会共生学部公共政策学科教授）、事例報告者として辻 弘之氏（登別市議会議長）、たぞえ 麻友氏（一般社団法人 woman shift 理事目黒区議会議員）、永野 慶一郎氏（枕崎市議会議長）から、各自治体での多様な事例報告を聴くことができ、とても参考になりました。

○2 日目のポイントとして、無投票当選者の増加、多様化の欠如（年齢構成・性別・職業等）、投票率の低下といった地域民主主義の問題、地方政治の問題に果敢に挑戦された方々から、その実践事例の紹介をいただき今後の課題と提言を議論され、様々な分野からの事例を聴くことができ、色々と学ぶべきことの多かったたいへん有意義なフォーラムでした。

今回の研修で得た知識や見聞を更に研鑽していき、栃木市議会において活用できるようにして参りたいと感じました。

以上

令和 5 年 10 月 27 日（金）

報告者 創政会 福田 裕司

(様式第3号)

視察研修・研修会等報告書

年 月 日	2023 年 10 月 25 日 ~ 2023 年 10 月 26 日
調査目的又は 研修会等の名称	第 18 回全国市議会議長会研究フォーラム
場 所	西日本総合展示場 新館（福岡県北九州市小倉北区浅野 3-8-1）
出 席 者	福田裕司・小太刀孝之
報告事項	
第 1 日 10 月 25 日（水）	
13:00【開会式】	
13:20【基調講演】「躍動的でワクワクする市議会に」 大正大学教授兼地域構想研究所長 片山善博氏	
14:40【パネルディスカッション】「統一地方選の検証と地方議会の課題」 （コーディネーター） 日本経済新聞編集委員 谷 隆徳氏 （パネリスト） 西南学院法学部教授 勢一智子氏 近畿大学法学部教授 辻 陽氏 Stand by Women 代表・女性議員のハラスメント相談センター共同代表 濱田真理氏 北九州市議会議長 鷹木研一朗氏	
第 2 日 10 月 26 日（木）	
9:00【課題討議】「議員のなり手不足問題への取組報告」 （コーディネーター） 大正大学社会共生学部共生政策学科教授 江東俊昭氏 （パネリスト） 登別市議会議長 辻 弘之氏 一般財団法人 WOMAN SHIFT 理事・目黒区議会議員 たぞえ麻友氏 枕崎市議会議長 永野慶一郎氏	
11:00【閉会式】	
上記のとおり報告いたします。	
令和 5 年 11 月 2 日	
栃木市議会議長	様
会派名 創政会	
代 表 福田裕司	
報告者 小太刀孝之	

【所感】

今回の全国市議会議長会研究フォーラムのテーマである「統一地方選の検証と地方議会の課題」について、選挙結果の検証と地方議会の課題を整理し、その解決に向けた今後の方向性をどのように展望していくのか？そのような思いで会議に参加しました。

以下、所感を報告致します。

《パネルディスカッション》 「統一地方選の検証と地方議会の課題」

統一地方選の検証では、日本経済新聞編集委員の谷氏より振り返りとして投票率に関しての報告がありましたが、依然として低下傾向が続き無投票当選も道府県議会の 565 人（全体の 25%）となっており、市議会でも 237 人（全体の 3.6%）町村議会では 1250 人（全体の 30.3%）となっています。また、定数割れも 21 市町村（前回 8 町村）に増加し、議会への関心の低下やなり手不足が浮き彫りとなる結果となりました。

一方で、女性議員は増加し道府県議会では 316 人が当選し、前回の 10.4%を上回る全体の 14%となりました。市議会でも 1457 人が当選し全体の 22%（前回は 18.4%）となり町村議会では 632 人が当選し全体の 15.4%（前回は 12.3%）といずれも増加となっています。一般企業においても女性役員の比率増加を進めており、議会においても女性議員が増加していく事で、女性ならではの視点で課題解決や新たな施策提案等ができるのではないのでしょうか。本市の女性議員は 3 人（10.7%）と全国と比較し少ない現状ですが、今後他の市町村と同様に増加し、議会の活性化に繋がることを期待します。

次に地方議会の課題として議員のなり手不足について近畿大学法学部教授の辻氏より報告がありましたが、小規模自治体の課題として挙げられるのが議員の専門化です。同じ市といえど、370 万人の市から 1 万人を割り込む市まで多様であり、それに合わせて議員報酬も多様となります。同様に人口規模が小さくなれば、議会事務局職員の人数も少なくなり政策調査や立案をサポートする機能も限界となります。また、政務活動費は 5 万人未満の市で交付していない数は 68 市（22.9%）にも上ります。首長と議会が同じ住民の代表として対峙する「二元代表制」としての理想は、議会議員についても議会活動に専念できる「専門化」の環境を整えることとしていますが、小規模自治体において議員

報酬を増額することは困難であり、議会活動に専念することは相当難しいと思われます。

本市においても人口減少が今後更に進む見通しの中、議員定数の見直しや議会活動に

専業化する環境を整える意味で、議員報酬を見直す時期が来るかもしれません。

《課題討議》 「議員のなり手問題への取組報告」

議会をめぐる議員のなり手不足の要因を大正大学社会共生部共生政策学科教授である江東氏は議会・議員に直接かかわる要因を「ならない要因」と「なれない要因」に分け分析していました。ならない要因は魅力の減退、条件の悪さとし、なれない要因は人口減少、集落の衰退、法律の縛りであると報告していました。日本の政治構造の変化（間接的な要因）は、議員数の激減、政治への関心の希薄化、統一地方選挙の統一率の減少、議会権限の拡大、人口減少・高齢化にあると指摘していました。これらの打開策として、住民福祉の向上（地域力アップ）や議会・議員の魅力周知、報酬増額等の条件整備、法律の改正（兼業禁止の緩和・議員の位置付けの明確化）、議会報告会・市民との意見交換会、政治サポーター・議会だよりモニターの選任などを行うことで、住民への理解を促し、議員のなり手不足解消に繋がると報告されていました。本市では、議会議員選挙において、定数割れや無投票などは回避できていますが今後、そのような状況が発生するかもしれません。議員のなり手不足打開策にも挙げられていましたが、市民との意見交換会や議会報告会で取り組んでいる高校生との意見交換会等を時代にあった方法で継続して行くべきと考えます。また、各議員が日頃からどのような取り組みを行っているのかを見える化し、情報発信する必要性もあると思います。議員の魅力周知や主権者教育等を積極的に実施し、若い世代が政治に興味を持ってもらい参画することで栃木市議会の活性化に繋がることを期待します。

以上

令和5年11月2日 報告者：創政会 小太刀孝之

別記様式第2号（第3条関係）

政務活動費実績報告書

金 額 1,980 円

令和5年11月 20日

会派代表者氏名 福田裕司

支出項目	資料購入費
内 訳	資料購入（地方議会議員ハンドブック第2次改訂版） 1,980円（税込み）（小太刀）
事 由	調査研究に必要
債 権 者 住所・氏名	東京都江東区新木場1丁目18番11号 株式会社 ギョウセイ 代表取締役社長 成吉弘次

(様式第5号)

領収書添付票

会 派 名	創政会	科 目	資料購入費
振込金受領証 (金融機関・コンビニエンスストア利用) 払込人氏名 小太刀 孝之 様 お問い合わせ番号 [REDACTED] 金額 1,980 内消費税額 180 受取人 株式会社きょうせい 振込先 [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] 受領印 収入印紙貼付欄 (GVS 専用) 23.6.22 [REDACTED] (お客様控) ゆうちょ銀行又は郵便局でお支払いの場合は左側の2枚だけをお出しください。 (地方議会議員ハンドブック 第2次改訂版			

別記様式第2号（第3条関係）

政務活動費実績報告書

金 額 15,230 円

2023 年 11 月 20 日

会派代表者氏名 福田裕司

支 出 項 目	その他の経費
内 訳	① 自宅のパソコンのインターネット利用料(福田) (令和5年4月～令和5年10月分) 23,023 円×1/6=3,837 円 ② インクカートリッジ(福田)5,175 円×1/2=2,587 円 ③ タブレット端末通信料 629 円×7 ヵ月×2 名=8,806 円 (令和5年4月～令和5年10月分)
事 由	調査研究活動のため
債 権 者 住所・氏名	① ケーブルテレビ㈱ 代表取締役 高田光浩 栃木市樋ノ口町 43—5 ② ケーズデンキ栃木大平店 栃木市大平町下皆川 2104-6 ③ 栃木市長 大川秀子 栃木市万町 9—25

(様式第5号)

領収書添付票

会 派 名	創政会	科 目	その他の経費
自宅用パソコンのインターネット利用料 1/6 充当			
福田議員 令和5年4月～10月分 23,023円×1/6＝3,837円			
3,837円			

領 収 証

No. [REDACTED]

福田 裕司 様

金額 ￥23,023

但 令和5年4月～10月
インターネット接続料として

令和5年10月10日

上記正に領収いたしました

ケーブルテレビ株式会社

〒328-0024 栃木県栃木市南大田町43-6

TEL0282-25-1811/FAX0282-25-1818

(様式第5号)

領収書添付票

会 派 名	創政会	科 目	その他の経費
新製品が安い KS ケーズデンキ お買上げ明細 2023年 8月17日(木) 10時45分 会員番号 XXXXXXXXXX <明細> 1 ●インクカートリッジ エプソン 4988617266797 ITH-BK 1点 10% ¥1,016 5%値引対象 2 ●エプソン ITHシリーズ対応 カラークリエーション 4544849671329 KSD-EITH-6ST 1点 10% ¥4,159 5%値引対象 2点/合計 ¥5,175 税率別内訳 / 課税対象額 10% ¥5,175 (内消費税額 ¥470) [0111212-011080778-2310005153556] ② 5,175円×1/2=2587.5 <u>2587円</u> 領 収 証 2023年 8月17日(木) 10時45分 創政会 福田裕司 様 金額 ¥5,175 (内消費税等 ¥470) 税率別内訳 / 課税対象額 10% ¥5,175 (内消費税額 ¥470) 但し、お品代として 上記金額正に領収致しました。 <決済内訳> 現金 ¥5,175 (内消費税等 ¥470) 現金お預かり ¥10,000 お釣り ¥4,825 登録番号 XXXXXXXXXX ケーズデンキ板本太平店 電話番号 0282-45-2001 販売担当者 XXXXXXXXXX			

(様式第5号)

領収書添付票

会 派 名	創政会	科 目	その他の経費																																																																																																																
タブレット端末通信料 令和5年4月～令和5年10月分																																																																																																																			
③ @629円×7ヵ月=4,403円/1人																																																																																																																			
4,403円×2名= <u>8,806円</u>																																																																																																																			
納入通知書兼領収書 <table border="1"><thead><tr><th>令和5年度</th><th>通知書番号</th><th>6700021148-00-00</th></tr></thead><tbody><tr><td>納付者</td><td colspan="2">栃木市大平町真弓1608-3</td></tr><tr><td></td><td colspan="2">福田裕司 様</td></tr><tr><td colspan="3">タブレット端末通信料政務活動費充充分 令和5年4月分～令和5年10月分</td></tr><tr><td>納付金額</td><td colspan="2">4,403円</td></tr><tr><td>納入期限</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>所屬</td><td colspan="2">15050000 議会事務局 議事課</td></tr><tr><td>会計</td><td colspan="2">01 一般</td></tr><tr><td>款</td><td colspan="2">21 諸収入</td></tr><tr><td>項</td><td colspan="2">04 雑入</td></tr><tr><td>目</td><td colspan="2">04 雑入</td></tr><tr><td>節</td><td colspan="2">02 雑入</td></tr><tr><td>細節</td><td colspan="2">01 雑入</td></tr><tr><td>説明</td><td colspan="2">60 タブレット端末自己負担金等(議事課)</td></tr><tr><td colspan="3">上記のとおり納付してください。</td></tr><tr><td colspan="3">栃木市長 大川 秀子</td></tr><tr><td colspan="3">栃木市</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>収納済印 出納 16 5.11.2 足利銀行 栃木支店</td></tr></tbody></table> 65000119280000  A 5 0 5 6 7 0 0 0 2 1 1 4 8 0 0 0 0 A				令和5年度	通知書番号	6700021148-00-00	納付者	栃木市大平町真弓1608-3			福田裕司 様		タブレット端末通信料政務活動費充充分 令和5年4月分～令和5年10月分			納付金額	4,403円		納入期限			所屬	15050000 議会事務局 議事課		会計	01 一般		款	21 諸収入		項	04 雑入		目	04 雑入		節	02 雑入		細節	01 雑入		説明	60 タブレット端末自己負担金等(議事課)		上記のとおり納付してください。			栃木市長 大川 秀子			栃木市					収納済印 出納 16 5.11.2 足利銀行 栃木支店	納入通知書兼領収書 <table border="1"><thead><tr><th>令和5年度</th><th>通知書番号</th><th>6700021149-00-00</th></tr></thead><tbody><tr><td>納付者</td><td colspan="2">栃木市大平町新1448-4</td></tr><tr><td></td><td colspan="2">小太刀孝之 様</td></tr><tr><td colspan="3">タブレット端末通信料政務活動費充充分 令和5年4月分～令和5年10月分</td></tr><tr><td>納付金額</td><td colspan="2">4,403円</td></tr><tr><td>納入期限</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>所屬</td><td colspan="2">15050000 議会事務局 議事課</td></tr><tr><td>会計</td><td colspan="2">01 一般</td></tr><tr><td>款</td><td colspan="2">21 諸収入</td></tr><tr><td>項</td><td colspan="2">04 雑入</td></tr><tr><td>目</td><td colspan="2">04 雑入</td></tr><tr><td>節</td><td colspan="2">02 雑入</td></tr><tr><td>細節</td><td colspan="2">01 雑入</td></tr><tr><td>説明</td><td colspan="2">60 タブレット端末自己負担金等(議事課)</td></tr><tr><td colspan="3">上記のとおり納付してください。</td></tr><tr><td colspan="3">栃木市長 大川 秀子</td></tr><tr><td colspan="3">栃木市</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>収納済印 出納 16 5.11.2 足利銀行 栃木支店</td></tr></tbody></table> 65000119280000  A 5 0 5 6 7 0 0 0 2 1 1 4 9 0 0 0 0 A				令和5年度	通知書番号	6700021149-00-00	納付者	栃木市大平町新1448-4			小太刀孝之 様		タブレット端末通信料政務活動費充充分 令和5年4月分～令和5年10月分			納付金額	4,403円		納入期限			所屬	15050000 議会事務局 議事課		会計	01 一般		款	21 諸収入		項	04 雑入		目	04 雑入		節	02 雑入		細節	01 雑入		説明	60 タブレット端末自己負担金等(議事課)		上記のとおり納付してください。			栃木市長 大川 秀子			栃木市					収納済印 出納 16 5.11.2 足利銀行 栃木支店
令和5年度	通知書番号	6700021148-00-00																																																																																																																	
納付者	栃木市大平町真弓1608-3																																																																																																																		
	福田裕司 様																																																																																																																		
タブレット端末通信料政務活動費充充分 令和5年4月分～令和5年10月分																																																																																																																			
納付金額	4,403円																																																																																																																		
納入期限																																																																																																																			
所屬	15050000 議会事務局 議事課																																																																																																																		
会計	01 一般																																																																																																																		
款	21 諸収入																																																																																																																		
項	04 雑入																																																																																																																		
目	04 雑入																																																																																																																		
節	02 雑入																																																																																																																		
細節	01 雑入																																																																																																																		
説明	60 タブレット端末自己負担金等(議事課)																																																																																																																		
上記のとおり納付してください。																																																																																																																			
栃木市長 大川 秀子																																																																																																																			
栃木市																																																																																																																			
		収納済印 出納 16 5.11.2 足利銀行 栃木支店																																																																																																																	
令和5年度	通知書番号	6700021149-00-00																																																																																																																	
納付者	栃木市大平町新1448-4																																																																																																																		
	小太刀孝之 様																																																																																																																		
タブレット端末通信料政務活動費充充分 令和5年4月分～令和5年10月分																																																																																																																			
納付金額	4,403円																																																																																																																		
納入期限																																																																																																																			
所屬	15050000 議会事務局 議事課																																																																																																																		
会計	01 一般																																																																																																																		
款	21 諸収入																																																																																																																		
項	04 雑入																																																																																																																		
目	04 雑入																																																																																																																		
節	02 雑入																																																																																																																		
細節	01 雑入																																																																																																																		
説明	60 タブレット端末自己負担金等(議事課)																																																																																																																		
上記のとおり納付してください。																																																																																																																			
栃木市長 大川 秀子																																																																																																																			
栃木市																																																																																																																			
		収納済印 出納 16 5.11.2 足利銀行 栃木支店																																																																																																																	